

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 〒101-8301

住 所 東京都千代田区神田駿河台1-1

氏 名 学校法人 明治大学

理事長 柳谷 孝

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 明治大学		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 多摩区東三田1-1-1		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	○	教育, 学習支援業
	中分類	81	学校教育
主たる事業 の内容	教育・研究 (大学)		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	4,496 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	当大学の環境への取組みについては、ホームページにて公表しています。 https://www.meiji.ac.jp/koho/academeprofile/activity/environmental/6t5h7p00001q7hpk.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

■学校法人明治大学 環境方針 (抜粋)
[基本方針] (1) 教育研究活動その他事業活動を推進するに当たり、環境関連の法律・規則・協定、当大学の校規等を遵守する。
(2) 環境目的及び目標を可能な限り具体的・定量的に設定して、環境マネジメントシステムを構築・運用し、適切な内部環境監査を実施して、その継続的な改善を図る。
(3) 環境に配慮した事業活動を行い、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減・再資源化、リサイクル及びグリーン購入を積極的に進め、環境負荷の低減に努めることにより汚染の予防を行う。
(4) 環境にかかわる教育研究活動、公開講座の開催等を展開し、環境保全にかかわる意識の高揚・普及を図る。
(5) 環境方針を当大学の教職員、学生・生徒、取引先関係会社の職員等に周知するとともに、学外に対しても文書、当大学のホームページ (<http://www.meiji.ac.jp/>) 等を通して積極的に公開し、理解と協力を求めていく。
■川崎市内工場の基本方針
・3年間の計画期間で事業活動地球温暖化対策指針にある基本および目標対策項目を積極的に実施する。

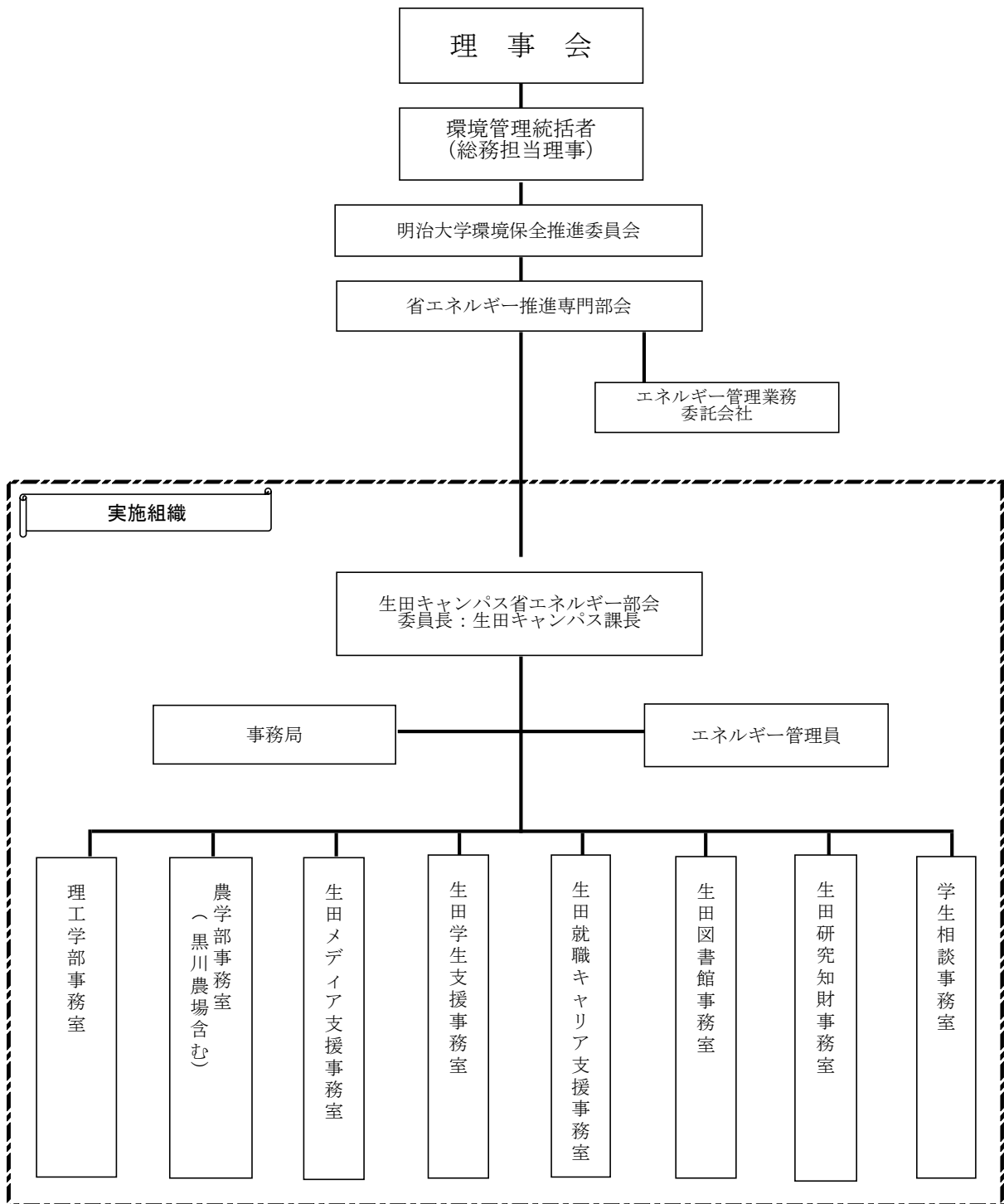
(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理 (P D C A サイクル) を行うための方針

①年2回、生田キャンパス省エネルギー部会を開催し、職員に対し、エネルギー使用量、省エネ対策等について周知を行う。
②年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量および排出量の実績管理を行い、運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。
③省エネルギー部会で省エネおよび排出量削減効果の検証・評価をし、対策の実施・中断についての判断を行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制

別紙参照

明治大学生田キャンパス エネルギー管理組織図



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準排出量 (t-CO ₂)	(基) 8,707 (調) 8,707		(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) 8,446 (調) 8,446		(基) (調)		(基) (調)	
削減量 (t-CO ₂)	(基) 261 (調) 261		(基) (調)		(基) (調)	
削減率	(基) 3.0 % (調) 3.0 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	11,605 9,059	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	8,446 8,446	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	27.2 % 6.8 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

省エネルギー法の年平均1%エネルギー消費原単位を改善する目標に準じて、3年間で3%の温室効果ガス排出量を改善することを目標とする。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	(1) 2025年度 各研究室・実験室第一・二校舎共用部学生会館・HRC・部室センター照明設備のLED化※系統選定中(生田キャンパス) (2) 2025年度 図書館・学生会館3階和室 空調機の高効率化更新(生田キャンパス) (3) 2025年度 第一校舎6号館、第二校舎D号館 空調機PACコンプレッサー更新工事(生田キャンパス) (4) 2025年度 第二校舎A館、6号館照明設備のLED化、空調設備の高効率化更新(生田キャンパス) (5) 2025年度 第一校舎3号館、4号館、5号館、6号館照明設備のLED化、空調設備の高効率化更新(生田キャンパス)
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		延床面積	原単位等の単位			k1/m2
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費等の原単位値	0.03448					0.03345
活動量の値	130365					137945
エネルギー消費等の削減率		%	%	%	%	3.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量原単位値						
活動量の値						
排出量原単位削減率		%	%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

省エネルギー法の年平均1%エネルギー消費原単位を改善する目標に準じて、3年間で3%のエネルギー消費原単位の改善することを目標とする。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移(1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	4,496 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	8,707 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	2			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量(t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
学校法人 明治大学 生田キャンパス	神奈川県川崎市多摩区 東三田1-1-1	8,365			

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	(第2-2面) 3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項 (4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等の記載に同じ。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項(1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入(基準年度)

種類	設備規模(kW)	発電量(kWh/年)	余剰売電量(kWh/年)	導入(保有)年度
太陽光				
風力				
バイオマス (燃料:)				
その他()				
その他()				
合計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電力エネルギー消費量	19,670,888 kWh	kWh	kWh	kWh	18,195,571 kWh
再エネ電源等	983,544 kWh	kWh	kWh	kWh	6,004,539 kWh
再エネ電源比率	5.0 %	%	%	%	33.0 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.431				0.310

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
電化の割合	97.5 %	%	%	%	97.5 %

(4) 目標設定に関する説明

事業者として非化石エネルギーの導入目標が定まっていないため、川崎市の目標に準じて使用電力の再生可能エネルギー電源比率を33.0%、調達する電力の排出係数を0.310kg-CO₂/kWhとする。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー等¹の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	特になし	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における再生可能エネルギー等 ¹ の導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○紙使用量の抑制化を図る（裏紙の利用、文書の電子化） ○事務用品のグリーン購入を推進する ○廃棄物発生量の縮減化を図る ○行政官庁の推進する共同取り組みへ参加する（CC川崎エコ会議等） ○環境展の開催による学生、職員への省エネ意識の啓発活動（年1回） ○カーボンニュートラル都市ガスの採用（生田キャンパス）
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	